

**米州開発銀行が発行する
「サステナブル・ディベロップメント・ボンド」への投資について
～すべての人に健康と福祉を支援する取り組み～**

朝日生命保険相互会社（社長：木村博紀、以下「当社」）は、米州開発銀行（Inter-American Development Bank、以下「IDB」、ムーディーズ:Aaa、スタンダード&プアーズ:AAA）が発行する「サステナブル・ディベロップメント・ボンド」（以下「本債券」）への単独投資を行いましたのでお知らせします。

<本債券発行の背景>

本債券を通して IDB は持続可能な開発目標 #3（SDG）「すべての人に健康と福祉を」の認識を高め、COVID-19 による罹患率と死亡率の低下に貢献し、パンデミックが健康に及ぼすその他の間接的な影響を軽減する事を支援します。

（ご参考）IDB の COVID-19 に関するプロジェクト

エルサルバドル共和国の COVID-19 感染拡大を抑止し、サービス提供への影響を緩和するための公衆衛生対応を支援する。主な目的は (i) 感染の検出と監視を改善、(ii) 感染の連鎖を断ち切るイニシアチブの支援、(iii) サービス提供のキャパシティー向上。

リンク(英文): <https://www.iadb.org/en/project/ES-L1144>

【債券概要】

発行体名称	米州開発銀行
発行形式	サステナブル・ディベロップメント・ボンド
発行総額	60 百万豪ドル (約 51 億円)
償還期間	10 年
対応する持続可能な開発目標 (SDGs)	

当社は、中期経営計画「Advance ～The road to 2030～」で持続可能な社会の実現に貢献し、社会への責任を果たしていくことを目指しており、今後も ESG 投融資を一層推進してまいります。

<IDB について>

IDB は人々の生活の改善のために 1959 年に設立されました。IDB はラテンアメリカ・カリブ

海地域で経済、社会、制度の発展のために長期的な資金提供を行う有数の機関です。また、最先端の研究を行うと共に、政策に関する助言、技術支援やトレーニングを、この地域における公共セクター及び民間セクターのお客様に対して提供しています。

以 上